

## 提 言 書

JAF モータースポーツ部  
スピード行事部会担当 御中  
(FAX 03-3578-4937)

本提言書は、JAF SPORTS 2008年5月号にて告知された、「2010年、2012年のダートトライアル車  
両区分変更試案」について、ダートトライアル選手会にて検討し、まとめた内容について、  
私\_\_\_\_\_が賛同し記名の上 提出するものです。

## <提言内容>

### 1. クラス区分見直しにおける基本的指針

ダートトライアル車両クラス区分の見直しについては、下記を念頭に置くべきと考えます。

- 多すぎるクラス数を統合しわかりやすさを向上すること
- クラス毎 出走台数の増加により選手権価値を維持すること
- 現有車両が改造／復元によって継続参戦出来ること
- ダートトライアルの本来持っている魅力を損なわないこと

### 2. クラス区分見直しにおける具体的条件

- ダートトライアル選手権の車両クラス区分を、下記6クラスを基本とする。
- クラス区分の変更時期は2011年の一度とする。

### 3. 提案するクラス区分

1. 現行のN1,SA1を統合したクラス (ナンバー付き、2WD)
2. 現行のN2に相当するクラス (ナンバー付き、小排気量4WD)
3. 現行のN3,SA2を統合したクラス (ナンバー付き、4WD)
4. 現行のSC1に相当するクラス (ナンバー無し、2WD)
5. 現行のSC2,SC3を統合したクラス (ナンバー無し、4WD)
6. 現行のDに相当するクラス (無制限)

ただし、このクラス区分実施に際しては以下の事項を十分考慮する必要があると考えます。

- NクラスとSAクラスの統合に関しては、両クラスの現有車両が適切な改造／復元によって継続参戦できるよう、最大限配慮される必要があること。
- 近年の新型車がダートトライアル競技に参戦する為にブレーキサイズ、ホイールサイズの縮小、いわゆるインチダウンが必要であることが多い事。
- SC2クラスとSC3クラスの統合に関しては、性能差を埋めることが可能になるような配慮が必要であること。(例：サスペンション改造許容範囲の拡大等)

### 4. 補足

各レギュレーションの内容詳細や、Lクラス等、「+α」の新クラスの設置については別途議論が必要だと考えます。

<ライセンス番号>

<所属クラブ>

<住所>

<電話番号>

<署名又は記名捺印>

(上記提言に対し、特に追記したい意見、及び、追加で複数人の記名を行う場合は下記に記入。  
その場合、上記項目を抜け漏れ無く記入のこと。)

以上